

令和7年度 救急・救命講習会開催報告

総務財経委員会

一般社団法人関西地質調査業協会では、労働安全衛生事業の一環として、隔年ごとに「救急・救命講習会」と「労働安全衛生講習会」を開催しています。令和7年度は、「救急・救命講習会」として、6月17日（火）と18日（水）の2日にわたり講習会を開催いたしました。

開催期日： 令和7年6月17日（火）、18日（水）

時 間： 13：30～16：30

場 所： 大阪市西消防署 2階講堂

担当講師： 大阪市西消防署職員 4名

講習内容： ・救急救命の基本講習
・胸骨圧迫及びAED実習 等

参加者： 17日23名、18日25名 計48名



写真-1 6/17 講習会全景



写真-2 6/18 講習会全景

「救命・救急講習会」は、大阪市西消防署の職員の方々に指導頂きながら、救急・救命に関する基礎的な講義を受けた後、グループに分かれて人体模型を使って実演習を行いました。

基礎的な講義では、救命の連鎖（①心停止の予防、②早期の認識と通報、③一次救命措置、④二次救命措置と集中治療）の説明があり、この中で①～③はその場にいた人の役割であり、皆さんの勇気ある行動が尊い命を救うことになることでした。

実演習では、先ず周囲の安全を確認したうえで急傷病者に近づき、1) 呼びかけて反応確認、2) 119番とAEDの手配、3)呼吸の確認、4)胸骨圧迫、5) AEDによる電気ショック等を行う緊急時の手順について講習が行われました。参加者全員が命を救うための行動を自覚してか、緊張感のある講習であったと思われます。また実技終了後の反省会では多くの方から積極的に質問があり、多くの学びがあったと思われます。

突如発生する急傷病者に対し、あわてること無く救急措置を施す心構えが備わった有意義な講習会でした。今回は参加者の約3/4の方々が初めての受講でしたが、身近な方の命を救うためにも、ひとりでも多くの協会の皆様に救急・救命講習会の受講をお勧めします。

最後になりましたが、大阪市西消防署の職員の方々、ありがとうございました。



<講師の方々>



写真-3 講習会冒頭挨拶(6/17)



写真-7 講師による講習会冒頭説明(6/18)



写真-4 グループに分かれて行った実技演習(6/17)



写真-8 講師による実技指導(6/18)



写真-5 胸骨圧迫による救命措置風景(6/17)



写真-9 グループに分かれて行った実技演習(6/18)



写真-6 講習会終了時挨拶(6/17)



写真-10 実技終了後の反省会(6/18)